

令和7年度 学校評価報告書（目標設定）

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
1	教育課程 学習指導	<p>①基礎学力の定着を図る「学び直し」から、自ら考え判断し表現する力までを育み、普通科と美術科が相互に刺激し高め合うとともに持続可能な教育課程を編成、実施する。</p> <p>②「育みたい生徒像」を実現し、個に応じた学力を育成するためのICT活用を進め、組織的な授業改善を行う。</p> <p>③学校行事等とおして、協働する力を育む。</p>	<p>①確かな学力の定着と教育の「質」を高める授業改善を進める。</p> <p>②一人一台端末に対応した授業方法を発展する。また、図書館の利用を促し、生徒の読書活動を推進する。</p> <p>③体育祭、文化祭、球技大会、生徒総会等の各学校行事について、生徒が主体的に企画運営できるように支援する。また、生徒が積極的に参加できるように努める。</p>	<p>①インクルーシブ教育の充実のためユニバーサルデザインを意識した授業を行う。</p> <p>②ICT機器を効果的に使用するための情報発信を行う。また、図書館と各教科等の連絡を密にし、生徒が活字に親む機会を増やす。</p> <p>③生徒会本部役員とコミュニケーションをとりながら各学校行事の目標と評価の観点を設定し、関係する委員会や部活動、有志と連携を図りながら、設定した目標の実現に向けた企画運営を行う。</p>	<p>①インクルーシブ教育の充実のためユニバーサルデザインを意識した授業を行うことができたか。</p> <p>②ICT機器を効果的に使用した授業が行えたか。図書館の利用機会が増加したか。</p> <p>③生徒会本部や委員会、部活動、有志において生徒全体のニーズや要望に応えた活動ができたか。また、活動を通じて生徒自身が達成感、満足感を感じることができたか。</p> <p>③各学校行事への参加率や生徒の達成感、満足感を高めることができたか。</p>
2	生徒指導・ 支援	<p>①他者を認める寛容の精神と自らを律することができる自己管理能力を育てる。</p> <p>②生徒一人ひとりの課題に対するきめ細かな教育相談体制を充実・発展させる。</p> <p>③部活動・委員会活動やボランティア活動等とおして豊かな人間性や社会性を育てる。</p>	<p>①日常生活習慣を見直し、ルールやマナーを進んで順守する生徒を育成し、安全・安心な学校づくりに努める。</p> <p>②組織的な教育相談体制を築き、一人ひとりの生徒に寄り添う教育相談を実施する。</p> <p>③部活動への関心を高め、加入率の向上および部活動の活性化を図る。</p> <p>③生徒会活動や委員会活動を中心として、生徒主体の学校行事の企画・運営に努める。また、様々な活動とおして、充実した学校生活を送り、白山生としての誇りを大切にする生徒を育成する。</p>	<p>①組織的な生徒指導体制を築き、服装、髪などのルール、登下校時のマナーに関する指導を実施する。</p> <p>②生活アンケートやサポートドックの内容を職員間で共有し、生徒の様子を正しく把握し、速やかにSCやSSWにつなげる。</p> <p>③部活動の勧誘・広報活動等を充実させ、新入生の部活動加入率を高める。</p> <p>③学校や近隣地域などのボランティア活動等を紹介・支援し主体的な参加を促す。</p>	<p>①昨年と比較して問題行動の数が減少したか。生徒が自らルールやマナーを順守して行動できたか。</p> <p>②支援を必要としている生徒の状況を正確に把握し、適切な支援が行えたか。外部専門機関を正しく活用できたか。</p> <p>③部活動加入率や満足度は向上したか。また、退部率は減少したか。</p> <p>③ボランティア活動を行う機会を増やすことができたか。</p>

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
3	進路指導・支援	<p>①「未来に向けて自らをデザインしよう」をスローガンに、高い志を持って目標に向かい努力することによって自己実現を図る指導を行う。</p> <p>②美術科の専門性を生かした進路実現を支援する。</p>	<p>①総合的な探究の時間での探究活動を充実させ、自己実現を図る態度を育成する。</p> <p>①アセスメントテスト(基礎力診断テスト)を有効活用し、自己有用感の育成や進路実現に向けて支援する。</p> <p>②進路ガイダンスを充実させる。</p>	<p>①探究活動を通して、自ら問いを立てて深く考える力を養う。</p> <p>①進路適性テストを活用し、自己理解に繋げるよう指導する。成績が向上した生徒の表彰など、自己有用感を高める工夫をする。</p> <p>②個々の特性や専門性をふまえた進路ガイダンスを一層充実させる。</p>	<p>①個々の探究テーマを設定し探究活動に積極的に参加できたか。</p> <p>①自身の進路実現に向けて動き出す生徒が増えたか。</p> <p>②個々の特性や専門性に合った進路ガイダンスを実施できたか。</p>
4	地域等との協働	<p>①地域と共にある学校づくりを行い、広い視野を持ち、地域に貢献することによって自己有用感を育む活動を充実させる。</p> <p>②地域やPTA等との連携を図り、安全・安心で信頼される学校づくりに取り組む。</p>	<p>①地域の清掃活動に取り組み、地域に貢献する姿勢と、貢献活動を通じた自己有用感を育む。</p> <p>②地域やPTAと連携し、生徒が安全で安心して生活できるよう、環境づくりに取り組む。</p>	<p>①地域貢献デーなどの機会を通じて清掃活動に取り組む。</p> <p>②地域やPTAと連携して安全な自転車の乗車について呼びかけるなどの活動を行う。</p>	<p>①清掃活動を通じて、地域貢献が実施できたか。</p> <p>②地域やPTAと連携した交通安全の取組ができたか。</p>
5	学校管理 学校運営	<p>①教員が多様で複雑な生徒の課題に寄り添い向き合う時間を確保するため、組織的な学校運営と校務の効率化を図る。</p> <p>②在校生や中学生、保護者や地域に向けた情報発信を充実させる。</p> <p>③事故・不祥事の根絶を図る。</p>	<p>①ワークライフバランスの実現を目指し、働き方改革を推進する。</p> <p>②在校生、保護者等のみならず、中学生や地域に向けて分かりやすくタイムリーな情報発信を行う。</p> <p>③不祥事ゼロプログラムに基づいて職員全体で継続的な不祥事防止対策を実施する。</p>	<p>①グループ業務の見直しと業務分担の適正化を図る。時間外在校時間を縮減する。年次休暇取得を促進する。</p> <p>②生徒の取組について、外部の目線に立った分かりやすいHPの運営を行う。</p> <p>③不祥事防止研修会を充実させ、職員全体が不祥事防止について当事者意識を持って行動する。</p>	<p>①業務の見直しと業務分担の適正化を行ったか。時間外在校時間を前年度よりも縮減できたか。</p> <p>年次休暇を15日以上取得できたか。</p> <p>②外部の目線に立って分かりやすくタイムリーな情報発信ができたか。</p> <p>③不祥事防止ゼロを達成できたか。</p>